

その他の便利な機能

マルチアクセスについて	＜マルチアクセス＞	366
マルチタスクについて	＜マルチタスク＞	367
アラームを利用する	＜アラーム＞	368
カレンダーでスケジュールを管理する	＜スケジュール＞	370
ToDoでスケジュールを管理する	＜ToDo＞	374
アラームで通知するときの状況を設定する	＜アラーム通知設定＞	375
オリジナルのメニューを使う	＜プライベートメニュー登録＞	376
自分の名前やメールアドレスなどを登録する	＜自局番号表示＞	376
通話中、待受中の声を音声メモとして録音する		
	＜通話中音声メモ＞＜待受中音声メモ＞	377
通話時間の表示を設定する	＜通話中時間表示＞	378
通話時間と通話料金を確認する	＜通話時間／料金＞	378
積算時間／積算通話料金をリセットする	＜積算リセット＞	379
電卓を使う	＜電卓＞	379
フリーメモを作成する	＜フリーメモ＞	379
FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する		
	＜FOMAカード（UIM）操作＞	380
平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける		381
イヤホンをつないで自動で電話を受ける	＜オート着信＞	381
利用する通信事業者を設定する	＜PLMN設定＞	382
各種機能の設定をリセットする	＜設定リセット＞	382
登録データを一括して削除する	＜端末初期化＞	382

<マルチアクセス>

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.468参照。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。
- テレビ電話または64Kデータ通信利用時はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSは同時に受信できます。

iモード中・パケット通信中に音声電話をかける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 iモード中・パケット通信中

▶  (1秒以上)

待受画面が表示されます。



2 電話をかける

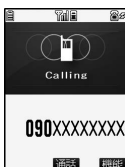
- iモード中にテレビ電話をかけると、iモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモードの画面に戻ります。
- 画面を切り替えるときは  を1秒以上押すか、 を押してタスクメニューから切り替えます。(P.368参照)



iモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される



2 で電話に出る

- 画面を切り替えるときは  を1秒以上押すか、 を押してタスクメニューから切り替えます。(P.368参照)
- 電話に出ないでiモードやパケット通信の画面に戻るには  を1秒以上押します。もう一度  を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。



音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにiモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

- 画面を切り替えるときは  を1秒以上押すか、 を押してタスクメニューから切り替えます。(P.368参照)

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

■通話中に着信があったときは

キャッチホンを契約し、サービスを「開始」に設定している場合は、通話中、64Kデータ通信中に着信があると、着信音が鳴り、通話／通信を終了すれば着信に応答できる旨のメッセージが表示されます。

元の通話を続けるには

1. **①** または **②** を押す
 - 音声電話中に音声電話がかかってきたときは、着信に応答できる旨のメッセージは表示されません。着信画面で手順2の操作を行います。
 2. **③** (機能)
- 着信拒否...新しい着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ...新しい着信を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話...新しい着信を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

新しい着信に応答するには

- ・テレビ電話中にテレビ電話の着信があったとき
- ・音声電話中に音声電話の着信があったとき
- ・64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信があったとき

1. **①** または **②** を押す
 - 音声電話中に音声電話がかかってきたときは、着信に応答できる旨のメッセージは表示されません。着信画面で手順2の操作を行います。
 2. **③** を押す

元の通話が終わし、着信画面が表示されます。新しい着信に応答できます。
- 上記以外の組み合わせのとき
1. **④** または **⑤** ▶ **⑥** ▶ 終了する通信を選択 ▶ **⑦**
 - テレビ電話を終了するには「テレビ電話通信」、音声電話を終了するには「音声通信」、64Kデータ通信を終了するには「外部機器通信」を選択します。
 - ⑦** を1秒以上押してタスクを切り替えても終了する通信を選択できます。
 2. **⑧** を押す

元の通話が終わし、着信画面が表示されます。新しい着信に応答できます。

お知らせ

- テレビ電話接続中、遠隔監視中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴に残ります。(留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。)
 - テレビ電話中に着信があった場合、着信時の画像に設定された動画／i モーション、Flash画像は表示されません。
 - テレビ電話中に着信があった場合、元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
 - テレビ電話中に着信があった場合、バイブレータは動作しません。
 - デジタルテレビ(視聴予約、番組表iアプリ含む)、アナログテレビ起動中は、以下の通話中に着信に応答できません。
 - ・音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合
 - ・テレビ電話中に音声電話がかかってきた場合
- 新しい着信を切断する場合は機能メニューから「着信拒否」を選択してください。

<マルチタスク>

マルチタスクについて

FOMA端末は、メニュー機能(P.35参照)などの複数の機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。

マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。(マルチタスクの組み合わせパターンについてはP.469参照)

最大3つのタスクと音声電話またはテレビ電話を同時に使用できます。

メールグループ...iモードメール機能、SMS機能

iモードグループ...メインメニューの「iモードグループ」内のメニュー機能

設定グループ...メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

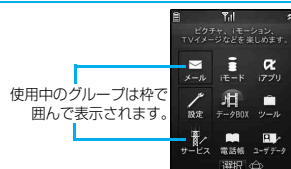
ツールグループ...メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

その他グループに属さない機能

..... 音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など



■マルチタスク中は



新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶



2 新しい機能を実行

■機能の使用状況を確認するには

アイコンで確認するには

「タ」... 使用している機能が一つのときに表示されます。
「タ」... 複数の機能を使用中に表示されます。

タスクメニューで確認するには

☰を押します。

現在使用中のメニューが一覧表示されます。

⦿で選択し、⦿を押してメニューを切り替えることもできます。



■メニュー機能呼び出す操作をしたときは

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されている場合は、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

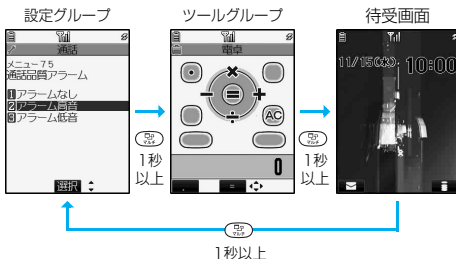
すでにタスクを3つ起動しているときに、さらに機能を起動しようとした場合、「これ以上機能を起動できません」と表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されているときは、⦿を押してiモードメニューを、⦿を押してメールメニューを呼び出せます。
- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が動作中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- FOMAカード、miniSDメモリーカード、別のFOMA端末、パソコンなどとのデータ転送機能は、マルチタスクでは使用できません。これらの機能を呼び出すときは、必ず他のメニュー機能を終了してください。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が動作しているときは、☰を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したもののから新しい順で切り替わります。



お知らせ

- ☰を押してタスクメニューを表示し、切り替えることもできます。
- メインメニュー以外で☰を1秒以上押すと待受画面が表示されます。メインメニュー表示中は切り替わりません。
- ☰で画面を切り替えても、動作中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面（P.438参照）から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で☰を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで⦿（機能）を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 複数のメニュー機能が動作しているときに、☰を繰り返し押すと、表示中のメニュー機能を終了したあとに、タスクの重なっている順に、動作していた機能が終了します。
- FOMA端末の電源を切ると、メニュー機能はすべて終了します。
- 他のメニュー機能が動作中にFOMAカード（UIM）操作などのメニュー機能を呼び出す操作をすると、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。この場合、他のメニュー機能を終了してから、メニュー機能を呼び出す操作をしてください。

<アラーム>

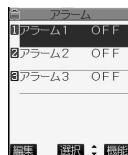
アラームを利用する

お買い上げ時

OFF

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。3件まで登録できます。

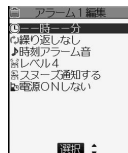
1 アラーム



2 アラームを選択▶⦿（編集）

▶以下の操作を行う

- 登録済みのアラームを選択すると、登録内容を確認できます。
- アラームを「OFF」にする場合は、⦿（機能）を押して機能メニューから「1件OFF」または「全件OFF」を選択します。



項目	内容
① (時刻)	▶アラームを鳴らす時刻を入力▶⦿ ●時刻は24時間で入力します。 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。

項目	内容
🔄 (繰り返し)	設定なし... 繰り返さない(1回のみ) 設定になります。繰り返しの設定が終了します。 毎日... 毎日同じアラームを設定します。詳細画面に「🕒」が表示されます。繰り返しの設定が終了します。 曜日指定... 指定した曜日にアラームを設定します。 ▶ 設定したい曜日にチェック ● 🕒 (完了) を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ● 少なくとも1つの曜日を指定してください。 ● 詳細画面に「🕒」が表示されます。
🔊 (アラーム音)	▶ フォルダを選択 ▶ 🔊 ▶ アラーム音を選択 ▶ 🔊 ● 「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ● メロディのフォルダや一覧についてはP.351参照
🔊 (アラーム音量)	▶ 🔊 で音量を調節 ▶ 🔊 ● 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1~6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
🔊 (スヌーズ通知)	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶ スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない ● 「スヌーズ通知する」を選択した場合は、設定が終了します。 ● スヌーズ通知の動作についてはP.369参照。 ▶ 鳴動時間(分)を入力 ● 「01」~「10」の2桁を入力します。
🔌 (自動電源ON)	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶ 電源ONする・電源ONしない

3 **🕒 (完了)** を押す

お知らせ

- 通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームを終了し、アラームメッセージが消え通話中の画面になります。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームを終了し、アラームメッセージが消えます。
- スヌーズ中に着信があった場合やスケジュール・ToDo・視聴予約のアラーム音が鳴った場合、スヌーズは解除されます。
- 自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、「プリインストール」以外のFOMAカード動作制限の対象となるアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

アラーム表示中の機能メニュー

1 アラーム表示中 ▶ **🕒 (機能)** ▶ 以下の操作を行う

機能メニュー	内容
編集	P.368手順2へ進みます。 ● 🕒 (編集) を押しても編集できます。
詳細表示	アラームの設定内容を表示します。
1件OFF	▶ YES
全件OFF	▶ YES

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているときは

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます。

「**🕒**」... 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「**🕒**」... 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

- 「正面時計設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・ToDoを「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になると

設定した時刻になるとアラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は、**🔊**を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。通話中のときは、受話口からアラームが3回繰り返して鳴ります。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションが表示されます。

- 操作中は
「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。(P.375参照)
「操作優先」... 操作中は通知しません。
「通知優先」... 常に通知します。

- アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

- 電源OFFのときは
＜アラーム＞
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
＜スケジュール・ToDo＞
設定した時刻になってもアラーム通知はしません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

- マナーモード中は
＜アラーム＞
設定した時刻になるとバイブレータでお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「アラーム音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
＜スケジュール・ToDo＞
設定した時刻になるとバイブレータとメッセージ表示でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。

- オールロック中、PIMロック中は「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。オールロックやPIMロック解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

＜アラームのみ＞

オールロック中やPIMロック中で電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、オールロックやPIMロック解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

- SD-PIM動作中は「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。SD-PIM動作終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
- FOMAカード（UIM）操作中は「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。FOMAカード（UIM）操作終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
- ソフトウェア更新中は「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
- 赤外線通信中は「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。赤外線通信終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

■アラーム音／アラームメッセージ・アニメーションの表示を消すには

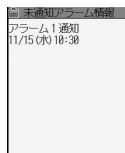
いずれかのボタンを押すとアラーム音が停止し、アニメーションの動きも止まります。アラームメッセージの表示を消すにはもう一度いずれかのボタン（アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は $\odot$ ）を押します。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールのアラームメッセージの表示は消せません。また、アラーム通知中に電話がかかってきたときはアラーム音が停止し、アラームメッセージやアニメーションの表示も消えます。

■「アラーム通知」ができなかったときは

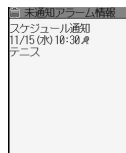
アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1. 待受画面▶ $\odot$
表示されているアイコンが選択できるようになります。

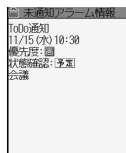
2. $\odot$ を選択▶ $\odot$
●「アラーム」の未通知アラーム情報画面には、アラームに登録した日時が表示されます。「スケジュール」の未通知アラーム情報画面には、スケジュール登録したときに設定した日時、スケジュールアイコン、要約または内容が表示されます。「ToDo」の未通知アラーム情報画面には、ToDoに登録したときに設定した日時、 $\odot$ または $\odot$ 、状態アイコンが表示されます。
● $\odot$ または $\odot$ を押すと元の状態に戻ります。
●未通知アラーム情報を確認すると、「未通知アラームあり」のアイコンは消えます。



アラームの場合



スケジュールの場合



ToDoの場合

お知らせ

- 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外でアラーム時刻になったときはアラーム通知されません。
- 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
- デスクトップで未通知アラーム情報の内容を確認せずにアイコンを消したいときは、 $\odot$ を1秒以上押します。
- アイコンを削除すると、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

<スケジュール>

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2005年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

- アラーム通知の動作についてはP.369参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音と入力したアラームメッセージ（スケジュールの要約や内容）および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。

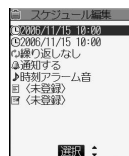
スケジュールは100件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録できます。

1 [ホーム] [スケジュール]



<カレンダー画面>

2 [新規] [スケジュール] 以下の操作を行う



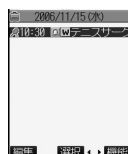
項目	内容
① (開始日時)	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力 ▶ [時刻] を入力します。
② (終了日時)	開始日時と同じか、あとの日時を入力します。 ▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力 ▶ [時刻] を入力します。
③ (繰り返し)	設定なし... 繰り返しなし (1回のみ) 設定になります。繰り返しの設定が終了します。 毎日... 毎日同じスケジュールを設定します。繰り返しの設定が終了します。 曜日指定... 指定した曜日にスケジュールを設定します。 ●繰り返し (毎日/曜日指定) を設定したスケジュールも1件としてカウントされます。 ▶設定したい曜日にチェック ▶ [完了] を押す ● [完了] を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ●少なくとも1つの曜日を選択してください。

項目	内容
🔔 (アラーム通知)	通知する... 開始日時に設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する... 開始日時に設定した時刻の何分前になるとアラームで通知します。 通知しない... 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
🎵 (アラーム音)	▶フォルダを選択 ▶ [アラーム音を選択] ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ●メロディのフォルダや一覧についてはP.351参照。
📄 (要約)	▶スケジュール要約を入力 ▶ [要約] ●全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。
📄 (内容)	▶スケジュール内容を入力 ▶ [内容] ●全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。 ▶アイコンを選択 ▶ [アイコン] ●ユーザアイコンを設定しているときは👤～👤が表示されます。 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。

3 [完了] を押す

- スケジュール内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。

- 🔔：アラームでお知らせ
- 🔄：毎日繰り返し
- 📅：曜日指定繰り返し



■同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

2つのスケジュールがともに「繰り返しなし」(設定なし) またはともに「繰り返し」(毎日/曜日指定) の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。「繰り返しなし」(設定なし) のスケジュールと「繰り返し」(毎日/曜日指定) のスケジュールの場合は、「繰り返しなし」(設定なし) が優先される旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- 同時刻に設定できるのは「繰り返し」(毎日/曜日指定) と「繰り返しなし」(設定なし) の組み合わせだけです。このとき「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。

お知らせ

- 待受画面にカレンダーを設定しているときは、カレンダーからスケジュールの設定ができます。(P.122参照)
- シークレットデータとして登録したスケジュールは、通常モードでのアラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。
- 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻(スケジュールの01~99分前)のみです。スケジュールを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一来備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード(P.354参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.471参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

休日・記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 (メニュー) ツール スケジュール (新規) 休日・記念日 以下の操作を行う



項目	内容
① (日付)	▶日付を入力▶ (アイコン)
② (繰り返し)	設定なし... 繰り返さない(1回のみ) 設定になります。 毎年..... 毎年同じ休日・記念日を設定します。 ●繰り返し(毎年)を設定した休日・記念日も1件としてカウントされます。
③ (内容)	▶休日または記念日の内容を入力▶ (アイコン) ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

2 (完了) を押す

- 設定した休日(※)・記念日(※)が登録されます。
- ☑: 毎年繰り返し
- すでに同じ日付に休日または記念日が登録されている場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。



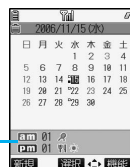
スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

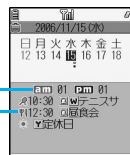
1 (メニュー) ツール スケジュール

カレンダー画面が表示されます。

- 選択されている日付は反転表示されます。
- スケジュールが登録されている日付には「□」(午前)、「■」(午後)が表示されます。土曜日(青色)、日曜日・祝日・設定した休日は赤色で表示されます。記念日は赤丸で囲んで表示されます。
- その日の午前と午後を設定されているスケジュールの件数と登録されているアイコンを表示します。休日と記念日のアイコンは午後の欄に表示されますが、登録件数には含まれません。
- その日の午前と午後を設定されているスケジュールの件数を表示します。
- その日に設定されているスケジュール、休日または記念日のアイコンと内容を表示します。



1ヶ月表示



1週間表示

2 日付を選択▶ (アイコン)

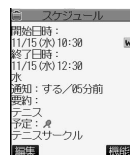
選択した日付のスケジュールの一覧が時刻順に表示されます。



<スケジュール
一覧画面>

3 スケジュール、休日または記念日を選択▶ (アイコン)

スケジュール、休日または記念日の詳細画面が表示されます。



<スケジュール
詳細画面>

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律178号)、及び2005年5月までに既に公布されている一部改正法に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- カレンダー画面では当日の日付の下にアンダーラインが表示されます。

カレンダー画面の機能メニュー

1 カレンダー画面▶ (機能) ▶以下の操作を行う



＜カレンダー画面＞

機能メニュー	内容
新規登録	スケジュール...P.371手順2へ進みます。 休日.....P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 記念日.....P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
1ヶ月表示・1週間表示 お買い上げ時 1ヶ月表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶1ヶ月表示・1週間表示
アイコン別表示	▶表示したいアイコンを選択▶ 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択し、○を押すと詳細が表示されます。
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。(P.373参照)
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。 ●確認が終われば (OK) を押します。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶削除したい項目を選択▶YES
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶ ▶削除したい項目を選択▶YES ●休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶YES

お知らせ

<アイコン別表示>

- アイコン別表示では、繰り返しを設定しているスケジュール(「[W]」または「[D]」)は1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

ユーザアイコン設定

静止画またはアニメーションをユーザアイコンとして登録すると、用件をお知らせするときに登録した画像が表示されます。

ユーザアイコンは5件まで登録でき、アイコン選択の画面では「[1]」～「[5]」と表示されます。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶ (機能) ▶ユーザアイコン設定▶<未登録>

- 静止画またはアニメーションが1件も登録されていないときは、「ユーザアイコン設定」は選択できません。
- 変更する場合は、登録済みのユーザアイコンを選択します。選択したユーザアイコンがスケジュールに使用されている場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択します。



2 ユーザアイコンの種類を選択▶

3 フォルダを選択▶▶画像を選択▶

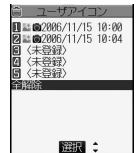
- 選択した画像が小さい場合は「貼付表示位置」で設定した位置に表示されます。

お知らせ

- 画像によってはユーザアイコンに設定できない場合があります。

■ユーザアイコンの設定をすべて解除するときには

手順1の画面で「全解除」を選択し、「YES」を選択します。
解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「[1]」に変わります。



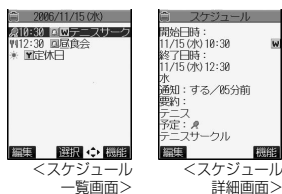
■選択したユーザアイコン1件だけを解除するには

手順2で「ユーザアイコン解除」を選択します。



スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

1 スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶▶以下の操作を行う



機能メニュー	内容
新規登録	スケジュール...P.371手順2へ進みます。 休日.....P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 記念日.....P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
編集	スケジュールはP.371手順2へ進みます。 休日と記念日はP.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●  (編集) を押してのみ編集できます。 ●祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶貼り付け先の日付、時刻を入力▶  スケジュールはP.371手順2へ進みます。 休日と記念日はP.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●コピー元のスケジュール、休日または記念日に「繰り返し (毎日/曜日指定/毎年)」が設定されていても、貼り付けたスケジュール、休日または記念日は「繰り返しなし」に変更されます。 ●祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	スケジュールをアイコン別に表示します。(P.373参照)
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。(P.373参照)
シークレット解除	シークレット登録されたスケジュールを通常のスケジュールに変更します。
iモードメール作成	スケジュールの日付と内容を本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)

機能メニュー	内容
1件削除	▶YES ●繰り返し (毎日/曜日指定/毎年) が設定されているスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。(P.373参照)
選択削除	▶削除したいスケジュール、休日または記念日にチェック▶  ▶YES ●  を押すごとに「  」と「  」が切り替わります。  を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。アイコン別表示中のみ操作できます。(P.373参照)

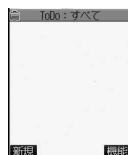
<ToDo>

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを最大100件登録してスケジュールを管理できます。

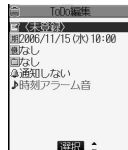
●アラーム通知の動作についてはP.369参照。

1 ▶▶ToDo



2 (新規) ▶以下の操作を行う

- すでにToDoが登録されている場合は、機能メニューから「新規登録」を選択します。
- 登録済みのToDoを選択すると、登録内容を確認できます。



項目	内容
 (本文)	▶本文 (ToDo内容) を入力▶  ●全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。
 (期日)	直接入力... 期日 (期限) をダイヤルボタンで直接入力し、  を押します。 カレンダーから入力 カレンダーが表示されますので、  で期日 (期限) を選択し、  を押します。期日を確認し、  を押します。 なし..... 期日 (期限) を設定しません。アラーム通知しません。
 (優先度)	▶優先度を選択▶  ●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。

項目	内容
 (カテゴリー)	▶カテゴリーを選択▶ 
 (アラーム通知)	通知する 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する . . . 設定した時刻の何分前になるとアラームで通知します。 通知しない 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
 (アラーム音)	▶フォルダを選択▶▶アラーム音を選択▶ ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ●メロディのフォルダや一覧については P.351 参照

- 3**  (完了)を押す
- : 優先度高い : 優先度低い
- 本文 (ToDo内容) を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。



お知らせ

- 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻 (ToDoの01～99分前) のみです。ToDoを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負い兼ねますので、万に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード (P.354参照) を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト (P.471参照) とFOMA USB接続ケーブル (別売) を利用して、パソコンに保管できます。

ToDo表示中の機能メニュー

- 1** ToDo表示中▶ (機能)
▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
新規登録	P.374手順2へ進みます。
編集	P.374手順2へ進みます。 ● (編集) を押しても編集できます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完了」を選択し、P.374手順2「期日」と同様の操作を行います。

機能メニュー	内容
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶状態を選択▶ ●状態アイコンは、期日を過ぎると白色からピンク色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.374手順2「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶カテゴリーを選択▶ ●ToDoを選択し、を押すと詳細が表示されます。
ソート/フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶表示したい順番や状態を選択▶
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック ▶ (完了) ▶YES ●ToDoの一覧が登録順に表示されます。 ●を押すごとに「」と「」が切り替わります。 ● (機能) を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶  ▶YES

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

お買い上げ時	通知優先
--------	------

他の機能を操作中に「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」と「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 ▶▶時計▶アラーム通知設定

- 操作優先 . . . アラーム通知は待受画面表示中にだけ行います。
- 通知優先 . . . FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

- アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」または「未視聴予約あり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー登録>

オリジナルのメニューを使う

お買い上げ時

自局番号表示 着信音量 バイブレータ 発信者番号通知 アラーム オープン設定

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。

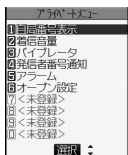
電話帳、設定、データBOX、ツール、ユーザデータ、サービス、iモード、メール、iアプリの各機能(P.446参照)から10件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 (F2) を2回押す

プライベートメニューが表示されます。

- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。
- プライベートメニューが1件も登録されていないときは、新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、P.376「メニュー登録」へ進みます。



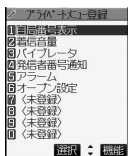
<プライベートメニュー>

2 機能を選択▶ (F2)

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー登録画面を表示する

1 (F2) ▶ (F2) ▶ ディスプレイ ▶ プライベートメニュー登録



<プライベートメニュー登録画面>

プライベートメニュー登録画面の機能メニュー

1 プライベートメニュー登録画面

▶ (F2) (編集) ▶ 以下の操作を行う

機能メニュー	内容
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能に登録します。 ▶登録する機能を選択▶ (F2) ●プライベートメニュー登録画面で項目を選択し、(F2)を押しても機能を選択できます。 ●(F2)を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。(F2)を押して登録する機能を選択します。 ●すでに登録されている機能に新たに登録する場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

<メニュー登録>

- 「iモード」、「iアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。
- 同じ機能は複数登録できません。
- 通話中や他の機能が動作中は、登録できません。

<自局番号表示>

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

ご契約の電話番号(自局番号)の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号(3件)、メールアドレス(3件)、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。

メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 (F2) ▶ (F2) ▶ 自局番号表示▶ (F2) (編集)



<自局番号表示画面>

2 端末暗証番号を入力▶

P.97手順2の操作を行って個人データを登録します。

- 自局番号は変更、削除できません。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。



3 ③(完了)を押す

お知らせ

- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

1 自局番号表示画面▶③(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
個人データ編集	個人データを編集します。 P.377手順2へ進みます。
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶端末暗証番号を入力▶③ ③でそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ● 表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ● 端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力し、③を押します。 ● 表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶③▶YES

お知らせ

- <メールアドレス削除><個人データ初期化>
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

<通話中音声メモ><待受中音声メモ>

通話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、通話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「待受中音声メモ」の2つがあります。

録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「待受中音声メモ」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

- 「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」の再生/消去についてはP.77参照。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶④(1秒以上)

「ビッ」と鳴って録音が始まります。テレビ電話の場合は録音が始まると「●REC」が表示されます。

- 音声電話中は以下の操作でも録音できます。

1. 音声電話中▶④▶通話中音声メモ
- テレビ電話の場合は相手に「画像選択」の「音声メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録音を途中で止めるときは③または④(1秒以上)を押します。音声電話の場合は④を押しても録音が停止します。
- 録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ビッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ビッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中、保留中などは録音できません。
- 録音中に④を押すと、録音を停止し、通話を終了します。

待受中に自分の声を録音する④④③③

1 ④▶④▶待受中音声メモ▶YES

「ビッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは③、④または④を押します。
- 録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ビッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ビッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときやアラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。また、録音中にビューアスタイルに切り替えても中断されず、録音中はビューアスタイルに切り替えないでください。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一来備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

<通話中時間表示>

FOMA 4G+ 3G

通話時間の表示を設定する

お買い上げ時 ON

通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。
●表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1

設定 時間/料金 通話中時間表示
ON・OFF



音声電話の場合



テレビ電話の場合

- テレビ電話中は (機能) を押して「通話中時間表示」を選択します。

お知らせ

- iモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 通話中に音声電話/テレビ電話を切り替えた場合や、通話時間の表示が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」に戻ってカウントします。

<通話時間/料金>

FOMA 5G+ 4G+ 3G

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間+64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかがってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。（FOMAカードには蓄積されています。）
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1

設定 時間/料金 通話時間/料金

前回通話時間 音声通話：直前の音声電話の通話時間を表示します。

デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金 音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。

デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間 音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。

デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金 積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時 . . . 前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時 . . . 前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

- 確認が終われば を押します。

お知らせ

- 日付時刻が設定されていない場合や、日付時刻を設定後、積算リセットを1回も行っていない場合は、時間リセット日時/料金リセット日時は表示されません。
- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- テレビ電話の積算通話時間は、デジタル通信のため、音声電話による「音声通話」ではなく「デジタル」として表示されます。
- 通話中に音声電話/テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」（P.55、P.83参照）が表示されている間は料金は課金されません。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする「iモード操作ガイド」をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「¥**」になります。

<積算リセット>

積算時間／積算通話料金をリセットする

- 1 **時間／料金** **積算リセット**
▶ **端末暗証番号を入力** ▶
▶ **以下の操作を行う**

項目	内容
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶ YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「¥0」に戻します。 ▶ YES ▶ PIN2コードを入力 ▶ ● PIN2コードについてはP.141参照。

<電卓>

電卓を使う

電卓を表示して四則演算（＋、－、×、÷）を行います。10桁まで表示できます。

- 1 **電卓**
▶ **以下の操作で計算を行う**



	+		×		=
	－		÷		小数点
	C（クリア） 間違えた数字を入力した場合などに、直前に入力した数字を取り消します。 再度数字、四則計算を入力して計算を続行できます。				
	AC（オールクリア） 数字、四則計算をすべて取り消します。 クリア／オールクリア後に再度押すと、ツール機能の選択画面に戻ります。				

■計算の例（－15＋20.7を計算します。）

－ 1 5 + 2 0 . 7 = 5.7

お知らせ

- 計算の途中で負数は入力できません。また、負数で始まる計算を行う場合は、数字を入力する前に を押して「－」を入力してください。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「E」を表示します。

<フリーメモ>

フリーメモを作成する

フリーメモを10件まで登録できます。

- 1 **フリーメモ**
▶ **<未登録>を選択** ▶ （編集）

- 登録済みのフリーメモを選択すると、登録内容を確認できます。フリーメモが長い場合は で画面をスクロールして確認できます。



- 2 **フリーメモを入力** ▶

- 全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

フリーメモ表示中の機能メニュー

- 1 **フリーメモ表示中** ▶ （機能）
▶ **以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.379手順2へ進みます。 ● （編集）を押しても編集できます。
i モードメール作成	フリーメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
スケジュール作成	フリーメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶ スケジュール P.371手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
フリーメモ情報	フリーメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。 ● 確認が終われば を押します。
分類	フリーメモをカテゴリ別に設定します。 ▶ 分類を選択 ▶ ● 設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶ YES
選択削除	▶ 削除したいフリーメモにチェック ▶ （完了）▶ YES ● を押すごとに「」と「」が切り替わります。（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

機能メニュー	内容
全削除	▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ YES

<FOMAカード（UIM）操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 ▶ FOMAカード（UIM）操作 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶

端末暗証番号を入力すると「

- 端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

2 コピー・削除 ▶ コピー先や削除元を選択 ▶

3 電話帳・SMS

電話帳

電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS

受信BOX... 受信BOXのデータをコピー・削除します。

送信BOX... 送信BOXのデータをコピー・削除します。

フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

4 コピー・削除したいデータにチェック ▶ (完了) ▶ YES

- を押すごとに「☐」と「☒」が切り替わります。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、操作できません。

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

1 電話帳またはSMS一覧表示中 ▶ (機能) ▶ 以下の操作を行う

機能メニュー	内容
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。 ● 確認が終われば を押します。

電話帳の機能メニューからコピーする

電話帳をFOMA端末（本体）またはFOMAカードへコピーします。

1 電話帳詳細画面 ▶ (機能) ▶ FOMAカードへコピー・本体へコピー ▶ YES

- FOMA端末（本体）の電話帳の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの電話帳の場合は「本体へコピー」と表示されます。

メールの機能メニューから移動・コピーする

送受信したSMSをFOMA端末またはFOMAカードへ移動・コピーします。

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶ (機能) ▶ FOMAカード操作

2 移動またはコピーする方法を選択 ▶ ▶ YES

「

」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- 電話帳のデータは、グループ単位でのコピー・削除はできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字まで、半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもコピー・削除できません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
- SMSレポート（送達通知）の移動・コピーはできません。
- SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位での移動・コピー・削除はできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 追加したフォルダ・iアプリメール用フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ内のSMSをFOMA端末からFOMAカードへ移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。
- 移動・コピー先ですべての最大登録（保存）件数まで登録（保存）されているときは、操作できません。
- データのコピー中にコピー先の最大登録（保存）件数を超えたときは、データがいっぱいになった旨の画面が表示されます。すでに登録（保存）されたデータの中で不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク端子（P.27参照）のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

- 1 電話番号を入力
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示
- 2 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶ 相手が出たら話す
「ピッ」という音が鳴り、電話につながります。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- 3 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する
「ビッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

- 1 着信中▶ 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す
「ピッ」という音が鳴り、電話につながります。
テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中に  を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。（P.87参照）
●FOMA端末を閉じた状態や、ビューアスタイルでも利用できます。
●FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
●「オート着信」をONに設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。
- 2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する
「ビッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「イヤホン切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続したときに音がスピーカから鳴らないように設定できます。
- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。（テレビ電話を保留していた場合、代替画像を送信し、テレビ電話を開始します。）
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押し続けたり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に （音量を上げる）、（音量を下げる）を押すと、音量調節ができます。

<オート着信>

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信：OFF 呼出時間：6秒（ON設定時）
--------	-----------------------------

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

- 1  ▶  ▶ 外部オプション
▶ オート着信 ▶ ON・OFF

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

- 2 呼出時間（秒）を入力

- 「001」～「120」の3桁を入力します。
- 設定されている呼出時間を変更しない場合は、呼出時間を入力せずに  を押します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

■テレビ電話の場合

オート着信で設定している呼出時間の経過後、自動的にテレビ電話に応答し、相手に代替画像を送信します。
●テレビ電話中に  を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。（P.87参照）

お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信を同時に設定する場合、オート着信を優先させるには、オート着信の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わずオート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<PLMN設定>

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時

DoCoMo

お客様がご利用になるFOMAサービスを提供するPLMN（通信事業者）の設定を行います。

※2006年7月現在、「DoCoMo」以外の通信事業者は選択できません。

- 1 ▶ **その他**
 ▶ **PLMN設定** ▶ **ネットワーク手動選択**
 ▶ **PLMN（通信事業者名）を選択** ▶

お知らせ

- 他の機能が動作中は、設定できません。

<設定リセット>

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の の項目をお買い上げ時の状態に戻します。（P.446参照）

- 1 ▶ **その他** ▶ **設定リセット**
 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ▶ **YES**

お知らせ

- 他の機能が動作中は、リセットできません。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。（P.446参照）

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に登録されている i アプリや、お買い上げ時に登録されている i アプリに保存されたデータは削除されません。
- 保護しているデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されている i アプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

- 1 ▶ **その他** ▶ **端末初期化**
 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ▶ **YES** ▶ **YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、初期化できません。
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- i アプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。